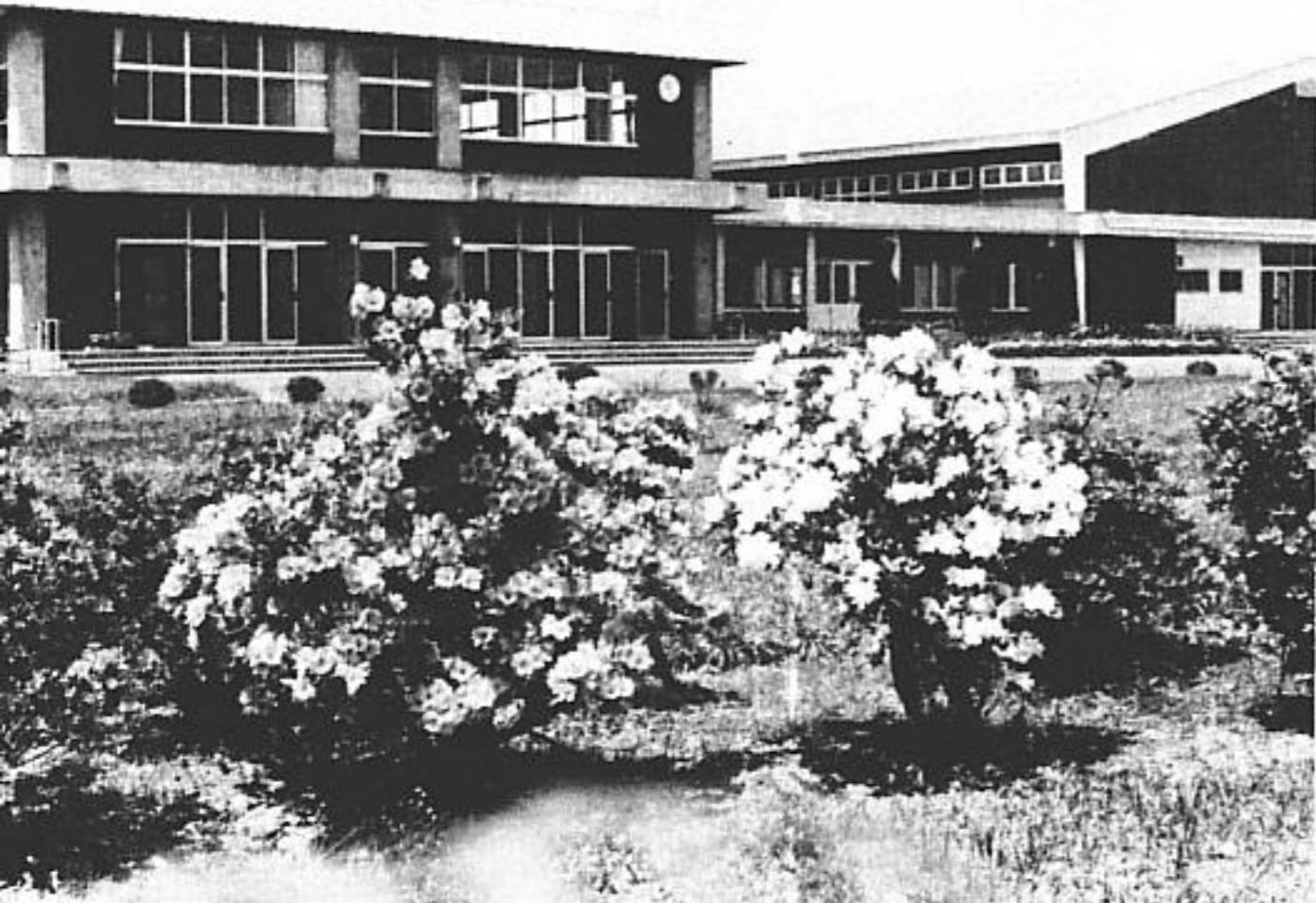


東由利町報

6/1

No. 315 昭和56年6月1日発行 昭和42年7月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行

昭和56年 No. 315



町の
生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康なくらし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

東中が 花と緑豊かな学園に
県緑化推進委員会の主催する昭和五十五年度学校林・学校環境緑化コンクール「環境緑化の部」で東由利中学校が見事優勝、秋田県知事賞に輝き、五月十五日に二ツ井中学校で行われた第三十二回県植樹祭記念式典の席上、佐々木知事から生徒代表の畠山作栄君（三年）、伊東春美さん（三年）に賞状並びに優勝旗が贈られました。また二人は、五月二十四日に奈良県で開催された全国植樹祭に同校阿部教諭とともに秋田県代表として出席し、全日本学校環境緑化コンクール「入選」の賞状と記念の楯を受けました。

同校では「環境は人を造る」を合言葉に、昭和四十六年の開校当初から全校職員・生徒・父兄が一体となり、花だんの造成や樹木の植栽など、計画的に校地緑化活動を進めてきています。今では、地膚が出ていた校地には芝生が張られ、サクラやツツジ、イチヨウなど十種類以上の樹木が植えられて緑豊かな学園環境に生まれ変わりました。

花だんには、チューリップ、マリーゴールド、千日紅など赤や黄色の花が四季折々咲き揃い、緑と花の絶えない学校では今、二百十一人の生徒が自らの大輪の花を咲かせるべく勉学やスポーツに励んでいます。

55年度県学校環境緑化コンクール 優勝

肉牛の里 づくり着々と

目標・昭和六十年に三、一〇〇頭

水田の二割近い減反実施に伴ない農家の畜産、とりわけ肉用牛飼養にかける熱意と期待はいつそう高まつてきています。

こうしたなかで町では、所得に結びつく転作の推進と、地形等の諸条件を生かした複合経営の確立のためにこの畜産の拡大振興を重点施策の一つにかけ、粗飼料確保や優良素牛の導入・保留対策、資質改良など各分野の振興策を充実し、「肉牛の里」づくりを進めています。

今号では、この期待される肉用牛飼養にスポットをあててみました。

☆現状と課題

頭数は九年間で二倍以上に

本町の肉用牛飼養頭数は、今年二月一日現在で二、一一

三頭と、ここ九年間で二倍以上になり（別表1参照）、増加率割合では日本一とも言われる県内有数の産地となりました。

これに対し飼養戸数は、九年前に比べてわずか三戸増えただけで、一戸当たりの飼

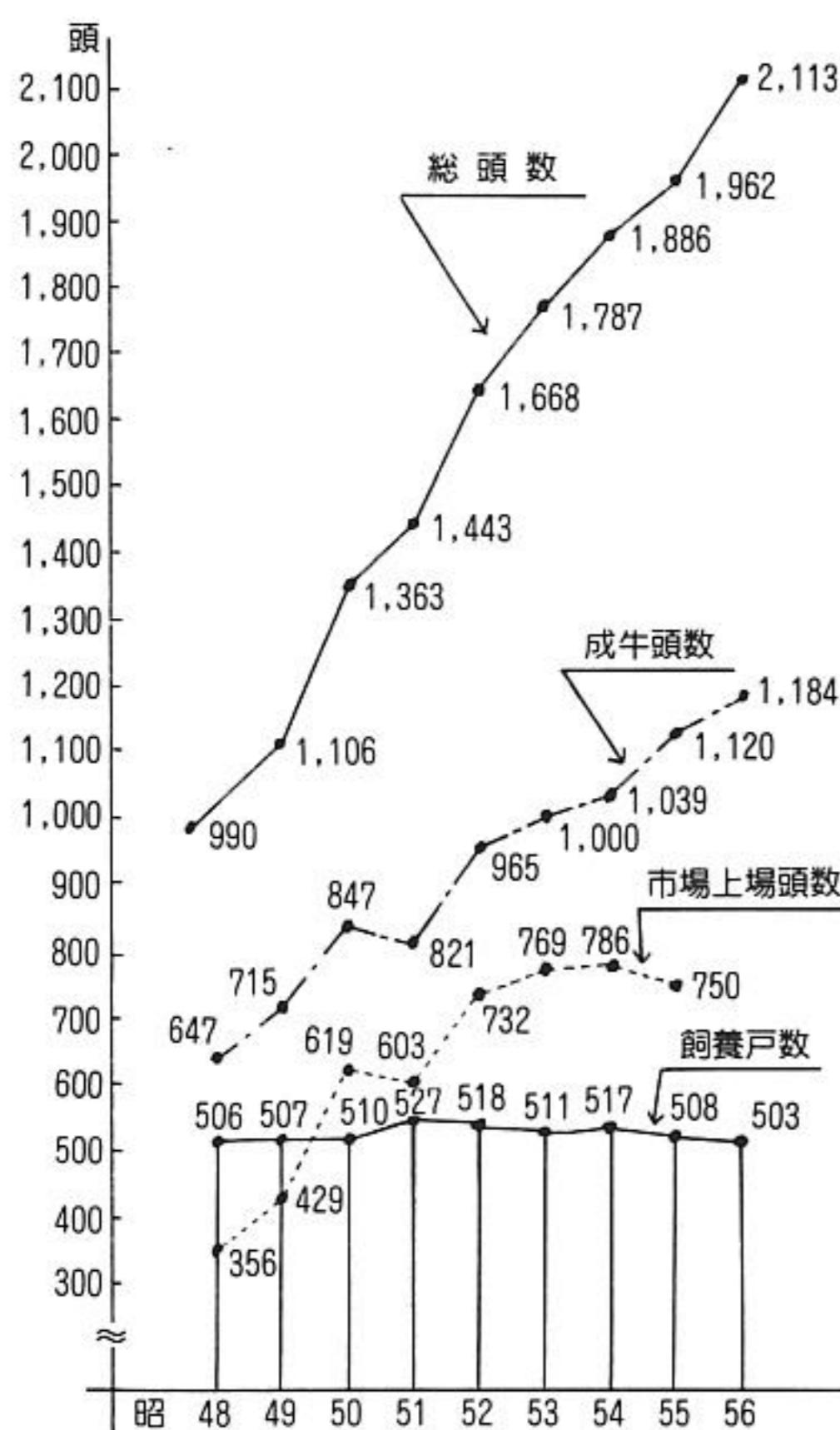
養規模は一戸二頭飼いから四戸になり（別表1参照）、増加率割合では日本一とも言われます。年々厳しくなる減反に、

このように大幅に増頭された要因の第一には、やはり「水田利用再編対策」が考えられます。年々厳しくなる減反に、自分の経営の中で取りつきや

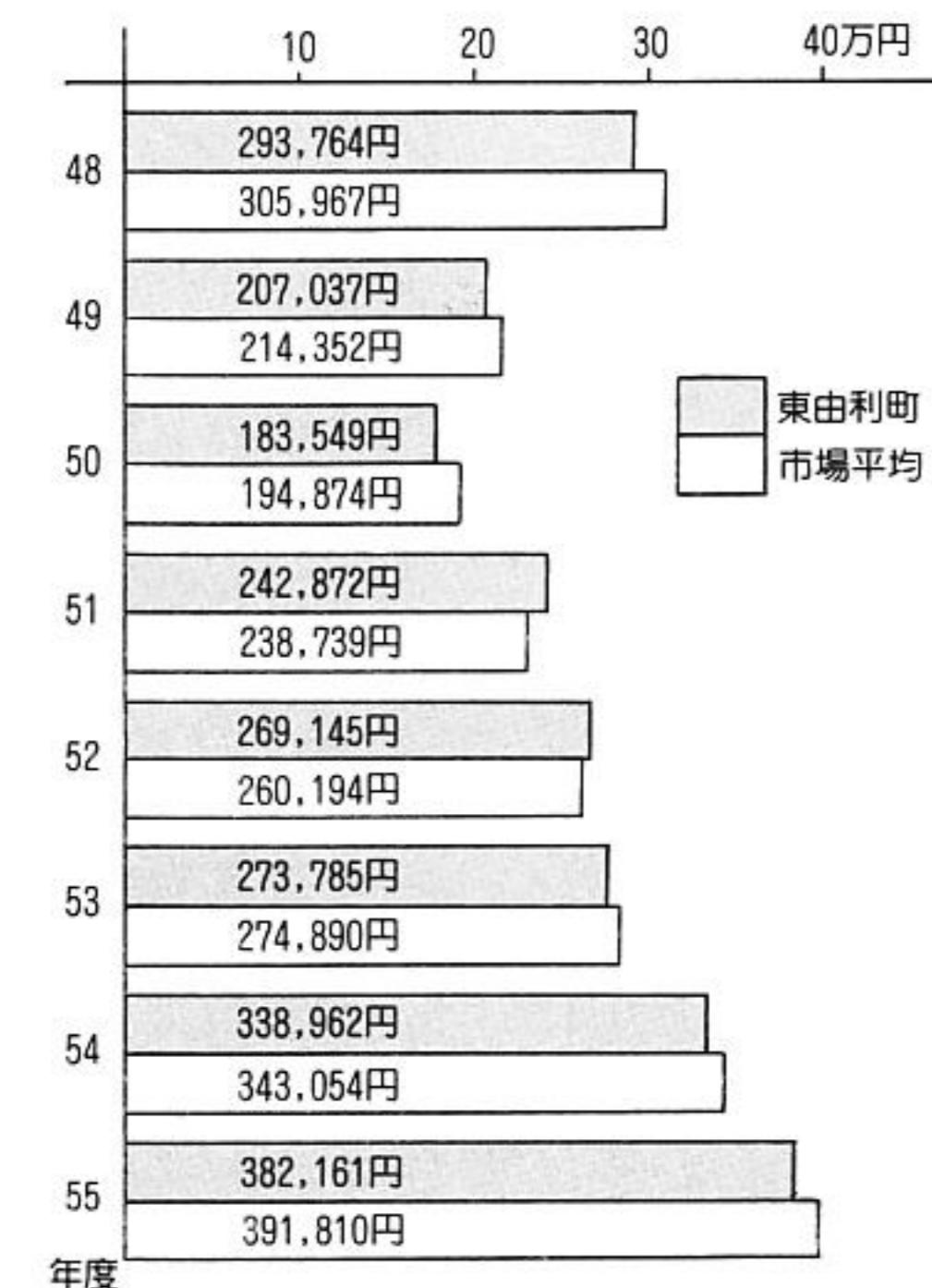
このため町では、地域の実情を考慮しながら、団体営農地開発事業、緊急粗飼料増産総合対策事業、自給飼料生産総合振興対策事業、新農業構造改善事業などの国県の諸制度を取り入れ、昭和四十九年から五十五年までに草地造成四五・六公頃、草地更新七四五公頃を実施しました。また町単独事業として、産業道路整備や非補助の不耕起造成に対して助成するなど、粗飼料基盤の拡大充実に努めてきました。

五十六年度以降は、これらの制度の活用とともに、豊富にある低位利用の山林原野を開発する農用地開発公団事業、いわゆる出羽丘陵開発に取り組み、良質粗飼料確保による規模拡大と経営の安定を図

表1 肉用牛飼養の推移



参考 本荘・由利家畜市場
1頭平均取引価格推移



すい飼料作物を転作物に選び、既存草地も考慮しながら飼養頭数を一頭から二頭、二頭から三頭へと増頭していく結果ではないでしょうか。そして、その背景には、昔から馬産地として知られた大家畜に対する愛情・飼養技術・資源（草）といった東由利畜産の歴史があったことも見逃すこととはできません。

これは、農家、人工授精師、獣医師の関係者が一体となり、飼養管理に留意し繁殖率を高め、事故牛発生を抑えることなどに努力した成果といえます。

特に、畜産経営の安定化には欠かすことのできない粗飼料基盤は、改良草地二二〇公頃で、八三・八公頃、計三〇三・八公頃で、一頭当たりにするとわずか一〇.7足らずしかなく、単位収量のアップと新規草地の造成が畜産振興のうえから大きな課題となっています。

粗飼料基盤の確立と

多頭化傾向のなかで、飼養技術は年々レベルアップされてきています。

このため町では、地域の実情を考慮しながら、団体営農地開発事業、緊急粗飼料増産総合対策事業、自給飼料生産総合振興対策事業、新農業構造改善事業などの国県の諸制度を取り入れ、昭和四十九年から五十五年までに草地造成四五・六公頃、草地更新七四五公頃を実施しました。また町単独事業として、産業道路整備や非補助の不耕起造成に対して助成するなど、粗飼料基盤の拡大充実に努めてきました。

五十六年度以降は、これらの制度の活用とともに、豊富にある低位利用の山林原野を開発する農用地開発公団事業、いわゆる出羽丘陵開発に取り組み、良質粗飼料確保による規模拡大と経営の安定を図

た「肉用牛生産団地育成事業」もその一つにあげられます。

一方、素牛の増頭に伴ない市場への子牛上場頭数も当然のことながら増加し、東由利大内町農協を抜き単位農協としては本荘由利家畜市場で一

番の上場頭数となり、文字どおり県内一の繁殖素牛生産地となっています。

これは、農家、人工授精師、獣医師の関係者が一体となり、粗飼料基盤の充実や優良素牛の導入・保留対策、防疫、衛生管理等、解決しなければならない問題が多くあるのも現実です。



肉用牛にかける農家の期待は大きく、手入れにも自然と力がはいる

○保留事業利子補給補助
優良認定を受けた繁殖素牛を自家保留するため農協の営農資金を借り受けた農家に対し、一頭三十万円を限度（県単保留事業と同額）に、農家負担利率が二・二%になるまで三カ年間利子補給する。

✓りたいと考えています。

計画的系統交配で
子牛の齊一性高める

「東由利牛」として肥育農家や市場の評価を得、産地として確立するためには、まず全町的に悪い牛を除いて良い牛が残るように改良を続け、資質・体型をそろえることが必要です。

そのため町では、昭和五十三年から全国和牛登録協会の育種事業に基づく「和牛改良推進組合事業」を推進しています。

これは、登録牛のうち一定水準以上のものを選定して基礎牛とし、それに計画的に系統交配を行い優良素牛を生産

しかし、優良素牛への改良は、一朝一夕、二年や三年でできるものではなく、牛の交代にも長い時間がかかります。そこで、『優良子牛の保留対策』が重要になつてきます。

良い牛は値が高く、高い牛は現金収入があるから売る一

町独自の導入・保
留対策を実施

さらにそれを保留することによつて町全体の繁殖素牛を改良、子牛の斉一性を高めようといふのです。

そしてすでに本町では、全国和牛登録協会地方審査員の本審査により一二九頭が基礎牛に認定されるとともに種雄牛が指定されています。今、市場性の高い良質な“東由利牛”づくりは着々と進められています。

そうなると悪い牛ばかりが残ることになり、いつまでたつても良質牛生産地の確立はできません。現実に、短期間ながらもちょっとした運営資金策があれば手元に残しておけるが、どうしても金銭的な面ができるために手離さざるを得ないといったケースが少なからずあると言われ、優良素牛の導入対策とともにこの保留対策の充実が農家から強く要請されていました。

償還は、借り受け後満一年目に五〇%、満三年目に五〇%ト。

○県単保留事業期間延長利子補給補助（五十八年度まで）

県単保留事業（利子補給対象金額：一頭三十万円以内、農家負担利率：年三%利子補給期間：二力年）による自家保留牛に対し、利子補給期間を一年延長する延長分の原資は農協の営農資金。

このように、農家の負担を少しでも軽減し、優良牛の確保を図ろうというものです。

経営内容に合った融資制度を選ぶ

経営内容に合った
融資制度を選ぶ

ては、拡大資金の確保も大きな問題です。

「米プラス畜産」の複合

すので、事前に役場・農協・農業委員会等に相談してください。

国際的な牛肉生産・消費量等の推移を見てみると、将来生産の伸びは期待されず、むしろ減少・低迷の方向にあります。

利用できる 資金	農林漁業金融公庫資金								秋田県農業振興対策資金 農業近代化資金
	土地改良資金 (牧野資金)	未墾地等取得資金	農地資金	総合施設資金	畜産經營拡大資金	畜産經營環境保全資金	豚・鶏資金	特定農業施設資金	
草地の造成や整備の事業 のために必要な資金	○		○						○
農地や採草放牧地とする ための未墾地を購入す るために必要な資金		○	○						
農地や採草放牧地を購入 するために必要な資金			○	○					
畜舎や農機具など施設の 設置や購入のために必要 な資金				○	○	○	○	○	○
家畜の購入のために必要 な資金				○	○				○



明るく住みよい町づくりのための工事が町内各所で行われている

昨年、三千六百万円で二二〇メートルを改良しており、総延長の五分の一近くが県の負担で整備されるわけです。

今年度は、六千三百万円で六四〇メートルが改良される予定です。

同線が完成すれば、町道台山線と接続して館合・大内町のサブルートが

住みよい町づくりに19億円

1戸当たり130万円の事業

四季を問わず町内を一巡してみると、必ずと言っていいほど行く先々で工事現場にぶつかり、砂利や土砂を満載したダンプとそれ違います。

これは、過疎・山村といったハンディを克服し、明るく住みよい東由利を築こうと、限られた財源を有効に活用し、国県の各制度を取り入れて、産業基盤や交通網、生活環境等の整備を進めているためです。

先ごろ、昭和56年度の国県予算も決まり、今年は、町県営事業合せて約19億円が町内のこうした投資的建設事業に使われることになりました。これを一戸当たりにすると、金額にして約130万円、米換算（1俵当たり1万7千5百円で計算）にして74俵分の事業を町内全家庭で実施することになります。

今号では、これらの中から主なものについてその概要を紹介します。

西山線は県代行事業に

金山線の舗装に着手

住吉～黒瀬間

一、九六〇メートルを舗装

できることになり、生活圏の拡大や経済流通はもちろん、地域の開発発展に大きく貢献するものと期待され、一日も早い完成が待たれています。

昨年から町が本格的に進めってきた町道西山線改良工事は、今年から県代行事業として施行されることになりました。

県代行事業とは、本来町が事業主体で行うべきものを、

国の補助以外の財源についてもできるだけ町負担を少なくするため、県が町に代わって事業を進めるものです。

同線は、老方字女夫坂地内（ライスセンター横）を起点に、

西山、藏新田後ろを通って藏に抜ける延長二、二一八・三メートルで、総事業費二億五千六十二

万二千円を投じ、全幅八・七五メートル、車道幅員五・五メートルに改良整備するものです。起点から二六〇メートルは圃場整備とも関連して昭和五十二年に改良舗装、

同線は、国道一〇七号線と西山、藏新田後ろを通って藏に抜ける延長二、二一八・三メートルで、総事業費二億五千六十二万二千円を投じ、全幅八・七五メートル、車道幅員五・五メートルに改良整備するものです。起点から二六〇メートルは圃場整備とも関連して昭和五十二年に改良舗装、

同線は、国道一〇七号線と西山、藏新田後ろを通って藏に抜ける延長二、二一八・三メートルで、総事業費二億五千六十二万二千円を投じ、全幅八・七五メートル、車道幅員五・五メートルに改良整備するものです。起点から二六〇メートルは圃場整備とも関連して昭和五十二年に改良舗装、

根小屋線は全線舗装完了

農免農道根小屋線には、未

舗装分一、六一五メートルの舗装工事費として四千五百万円の予算がつきました。

工事は四月下旬に発注され、現在、一部の路肩仕上げを残してほぼ完了しています。

これにより、昭和五十二年に改良着工された大琴から大内町、寺山を通って県道橋済横渡線の大内町境に接する延長五、五九〇メートルの同線は、全線舗

装済となります。

同線は、本来の農道としてのメリットだけでなく、近隣集落を結ぶ生活関連道路、また、仁賀保町や矢島町から本町通り大内町を経て新秋田空港に抜けるルートとしても期待されています。

広域農道に関連する農道として工事が進められている高村線は、四千八百万円で改良五〇〇メートル、橋梁一橋を予定しています。

同線は、小倉から高村を通つて大森町松原に至る延長五三六〇メートル（本町分は三、九六〇メートル）で、広域付帯農道整備事業八沢木地区として採択に

るもので、初年度の今年は一千五百万円で五二〇メートルを予定しています。

一方、起点が国道一〇七号線をはさんで根小屋線を相対する軽井沢農免農道（大琴～大吹川間）には、今年一億四千五百円の予算がつき、橋梁一橋、改良一〇〇メートルのほか、舟打場から大吹川の地すべり地手前までの舗装を予定しています。



内山三郎氏



小松運次郎氏

なり、初年度の昨年は四千円で三八〇㍍が改良されました。

八塩開拓道路

三二〇㍍を改良

八塩開拓道路は、昨年度までに九〇九㍍が改良され、今年は三千二百万円で改良三〇㍍を予定しています。

同線は、金森沢（石高地内）を起点に、町の最高峰七一三㍍の八塩山に向つて延びる三、〇五〇㍍の路線で、昭和四四年度に改良着工されました。

春の生存者叙勲

内山先生勲五等・小松氏勲六等

昭和五六年春の生存者叙勲で、本町中通りの歯科医師内山三郎先生（八十歳）が学校保健功労として勲五等に、新町の小松運次郎さん（七十三歳）が消防功労として勲六等に叙せられ、それぞれ瑞宝章が授与されました。

内山先生は、昭和五年六月旧下郷村に歯科医院を開業し、

由利村国民健康保健運営協議会

八塩山のふもとには、満々と清水をたたえる八塩ダムと、これを中心にした“いこいの森”、町営木沢放牧場、八塩スキー場、東由利水道ボツメキ水源などがあり、同線の改良整備は、産業並びに観光開発、発展に大きな影響を与えると期待され、一日も早い完成が待たれています。

農道関係ではこのほか、団体営農道整備事業の須郷地区が六千百万円で改良三二〇㍍、補装一、〇五五㍍、葎沢地区が四千五百万円で改良八〇〇㍍、

林道関係では、八塩開拓道路と同じく八塩山麓に向つて延びる三、一〇〇㍍のボツメキ線が三千万円で開設七二〇㍍、軽井沢線が三百二十万円で桃台地内九五㍍の舗装を計画しています。

農道関係ではこのほか、団体営農道整備事業の須郷地区が六千百万円で改良三二〇㍍、補装一、〇五五㍍、葎沢地区が四千五百万円で改良八〇〇㍍、

区は、四千七百万円で水路及び暗渠排水工事等を行い、今年度で工事完了したい予定です。

モデル事業で大吹川・袖山地区に水道

このほか、町単独事業として町道三路線の改良、町道四路線の舗装を実施します。

会発足以来現在まで、同会委員として国保医療の円滑な運営にあたり、保健行政の広い視野にたつてへき地診療所の設置や保健婦活動の充実など医療機関の整備と保健思想の普及向上、民生安定向上に貢献され、昭和四十六年に東由利村功労者として表彰を受けています。

小松氏は、昭和五年下郷村消防組消防手となつて以來同四十年三月まで三十六年の長い間、消防人としての職に奉じ、この間、班長、分團長、昭和三十年七月から退任するまでは副團長の職にあり、常に第一線にたつて団員の育成指導にあたるほか、災害の防止、被害の軽減に大きく貢献した功績が認められたものです。

舗装七四〇㍍、をそれぞれ予定しています。

県圃事業に

県営圃場整備事業には三億九千万円の予算がつき、暗渠排水五九・三㍍、支線用水路

等の整備が計画されています。

二次農構・新農構は

団体営圃場整備事業釜坂地区は、四千七百万円で水路及び

暗渠排水工事等を行い、今年度で工事完了したい予定です。

今年、南部地区のトラクター、農機具格納庫の整備に一千六万円となっています。これにより、自立経営農家の育成を目指して昭和五十二年に事業開始した同事業は、北部・中部・南部ともすべて事業完了となります。

モードル事業で大吹川・袖山地区に水道

今年で事業完了

モードル事業で大吹川・袖山地区に水道

農村総合整備モデル事業では、五千五百万円で大吹川・袖山地区営農飲食用水施設水道の本管理設工事のほか、新町線舗装、茂沢線・向山線の改良などを予定しています。

同事業は、生活環境と生産

農業構造改善事業では、

新農業構造改善事業では、

基盤を総合的に整備し、若者も喜んで定着できるような農村を作ろうと、昨年から事業を進めているもので、総事業費は十六億五千七百万円を見込み、七カ年で完了したい計画です。

刃ヶ台地内三・三

タルを草地造成

団体営草地開発事業では、

刃ヶ台地内（舟打場）三・三

の草地造成と関連道路二八

三・一㍍を整備します。事業費は一千百七十万三千円を見込んでいます。

このほか、法内・宮上両地区で実施している土地改良総合整備事業に六千万円、宿地区で実施している農村基盤総合整備事業（ミニ総バ）に五千五百万円となっています。

宿地区多目的研修集会施設を完成するほか、宿連絡道一五五号の改良舗装と草地管理機二台を購入します。これにより同事業は、一次農構と同じく今度で事業完了となります。

宿地区多目的研修集会施設を完成するほか、宿連絡道一五五号の改良舗装と草地管理機二台を購入します。これにより同事業は、一次農構と同じく今度で事業完了となります。

刃ヶ台地内三・三

タルを草地造成

団体営草地開発事業では、

刃ヶ台地内（舟打場）三・三

の草地造成と関連道路二八

三・一㍍を整備します。事業費は一千百七十万三千円を見込んでいます。

このほか、法内・宮上両地区で実施している土地改良総合整備事業に六千万円、宿地区で実施している農村基盤総合整備事業（ミニ総バ）に五千五百万円となっています。

宿地区多目的研修集会施設を完成するほか、宿連絡道一五五号の改良舗装と草地管理機二台を購入します。これにより同事業は、一次農構と同じく今度で事業完了となります。

55年度後期 町の財政状況

魅力ある町づくりのために

昭和五十五年度後期(昭和五十六年三月三十一日現在)の町財政の状況を報告します。

国の苦しい財政事情が市町村財政に大きく影響する中で、経費の節減に努め、財政構造の健全性の確保と効率的な財源配分を図り、豊かな魅力ある町づくりのため、財政の運営をしてまいりました。

その結果、昭和五十五年度一般会計の最終予算は二十億一千三百一万円と、当初予算十七億一千五百十六万八千円に比較し、五・八%増となりました。

主に農道や草地改良などの農林業基盤の整備と道路整備に重点配分され、歳出予算の四四・九%を占めました。予算に対し、約八〇%が収納及び執行されています。

歳入の四割が地方交付税

入るお金

町民一人当たり 税負担二万一千円
国県補助八万七千円

歳入のうち町が自主的に収入しうる財源(自主財源)は、二億四千九百五十六万四千円で、予算全体の一・二・四%を占めています。町民に直接関係のある町税は、一億三千四百八十一万二千円で、全体の六・七%町民一人当たりにしますと二万一千二百八十四円となります。

国・県から交付される収入(依存財源)は、十七億六千三百四十五万円で全体の八・六%を占めています。その中で、国が国税の一定割合の基準を定め、地方公共団体に交付する地方交付税は、歳入に占める割合が最も多く、八億

町が資金調達のために負担する債務である町債は、昭和五十五年度に二億七千八百十

総務費は全体の一・五・四%となります。

農林・土木で九億円

出すお金

公債費が一億六千万円

歳出を目的別にみると、農林水産業費が六億八千八百十一万三千円、土木費が二億一千五百七十三万四千円、計九億二百八十四万七千円で、率にして四四・九%となり、

その他は別表のとおりです

が、広域消防、ごみ処理、老人ホーム、情報処理センター等、広域行政の充実に伴う負

成及び公表に関する条例
(昭和三十年条例第二十号)
の規定により、昭和五十五年度下半期の財政状況を次のとおり公表します。

地方債現在高十七億円

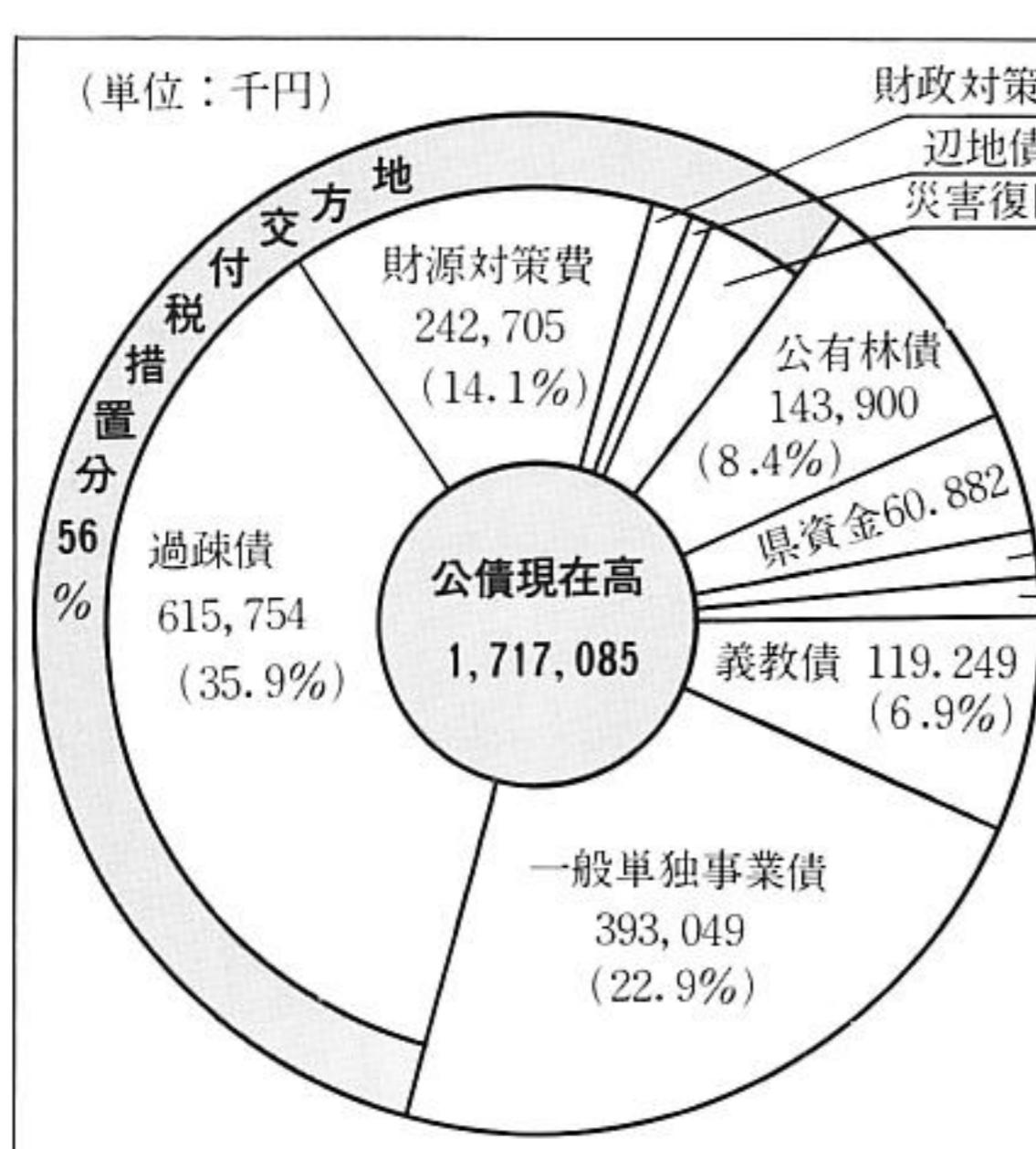
昭和五十五年度発行の地

方債は、約二億七千万円です。

財政が健全かどうかの目安として公債費比率(一般財源に占める、その年度に支払う元利金の割合)と経常収支比率(町税、交付税など一定の収入に占める、人件費・公債費などの割合)が指標とされ、それぞれの八二・二%を占めますが、主に町債が利率などの関係から未収入のため、一億九千万円の一時措り入れをして、資金繰りをしています。

昭和五十五年度本町では、町民各位のご協力によりまして、町税を始めとして歳入は、ほぼ順調な納入の状況となっています。後年度に過大な負担を残さない本町は、義務的経費の増嵩に充分な配慮を払わなければなりません。従って特に国県財政の悪化による町村へのねかえりは当然予想され、自主財源の少ない本町は、義務的経費の増嵩に充分な配慮を払わなければなりません。従って昭和五十五年度本町では、町税を始めとして歳入は、ほぼ順調な納入の状況となっています。

今後は、事業の緊急度を勘案し計画的な執行を図る必要があります。



込まれます。財政の健全性は確保されていますが、昭和五十年代以降、地方債の発行増に伴ない今後の償還額が増加しますので、財政運営には慎重に対処する必要があります。

一般会計最終予算額 20億1,301万円

歳 入

	当初予算額	上半期補正額	下半期補正額	最終予算額	構成比 (%)	執 行 額
町 税	134,812	0	0	134,812	6.7	
地方譲与税	20,500	0	0	20,500	1.0	
地方交付税	666,770	78,364	77,259	822,393	40.9	
国庫支出金	98,093	241,736	△ 190,634	149,195		
県 支 出 金	399,519	△ 7,112	8,034	400,441		
繰 入 金	10	38,372	△ 38,000	382	7.4	
繰 越 金	40,000	44,087	0	84,087	19.9	
町 債	231,500	131,280	△ 90,900	271,880	4.2	
その他の収入	123,964	5,197	159	129,320	13.5	
					6.4	

(単位：千円)

担増が目立つており、総額で約八千三百万円、予算全体の四・一割を占めます。

昭和五十五年度以前に発行した地方債の返済金は、一億六千五百七十三万八千円と全

体の八・二割となり、一時借入金の利子を含め八・四割となります。前年度に比較しますと約三千四百万円、二三割と増と、昭和六十年頃まで年々増加することになります。

補助金等の効果的な獲得で予算規模は伸び、各科目に効率的に配分しているものの、公債費や負担金などの伸びは、財政を圧迫する要因となりますので、今後は、充分な検討

と対応が必要となるでしょう。予算の執行状況は、三月末で約十六億三千万円、八一割の執行率となっております。

【国保】 国保会計は税を据置きし、

基金繰入れにより対応しています。昭和五十五年度被保険者四千六百人、平均税負担は、約三万円となっています。(注:今回の報告と決算とは異なることを申し添えます。)

歳 出

	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	予備費	構成比 (%)	執 行 額
	41,561	1,560	567	43,688		677,693	192	10,228	688,113						2.2	
	181,116	8,616	120,554	310,286		2,065	0	35	2,100						15.4	
	153,955	7,694	△ 8,498	153,151		177,230	37,411	1,093	215,734						7.6	
	59,114	0	1,496	60,610		94,772	1,464	254	96,490						3.1	
	4,548	0	452	5,000		138,905	411,800	△ 368,213	182,492						0.2	
	677,693	192	10,228	688,113		9,019	61,988	6,000	77,007						34.2	
	2,065	0	35	2,100		169,438	0	0	169,438						0.1	
	177,230	37,411	1,093	215,734		1,752	1,199	1,950	4,901						10.7	
	94,772	1,464	254	96,490		4,000	0	0	4,000						4.8	
	138,905	411,800	△ 368,213	182,492											9.1	
	9,019	61,988	6,000	77,007											3.8	
	169,438	0	0	169,438											8.4	
	1,752	1,199	1,950	4,901											0.2	
	4,000	0	0	4,000											0.2	

特別会計の状況

玉米財産区 特 別 会 計

予算額 1,218千円
収入済額 3,399千円
支出済額 832千円

簡易水道事業 特 別 会 計

予算額 27,680千円
収入済額 27,910千円
支出済額 24,400千円

黒渕診療所 特 別 会 計

予算額 1,927千円
収入済額 1,598千円
支出済額 1,434千円

国民健康保険 特 別 会 計

予算額 424,935千円
収入済額 379,327千円
支出済額 325,058千円

22頭が若草を口に 朴の木沢放牧場が開牧



八塩山のふもとにある町営朴の木沢放牧場が五月十九日開牧し、町内八戸から肉用牛十頭、乳用牛十二頭が放牧されました。

付き添つてきた飼育農家の手から離された二十二頭は、緑に覆われた広い牧場内を元

十月下旬には“均整のとれた黒いダイヤ”となつて我が家に戻る

気よく走り回り、早速、おいしい若草を口にしていました。

同放牧場は、乳用牛を対象に昭和三十五年開設したもので、しかし、年々増加する

小松町長は、天皇陛下が各界の功績者らを招待して東京・春の園遊会に招かれ、五月八日午後、當子夫人とともに参

会しました。

この日東京は、前日の荒天とは打つて変わつて、まばゆいばかりの五月晴れとなり、各閣僚、国会議員、各界の功績者、地方自治関係者らとその夫人を含めて千六百七十四

肉用牛についても、良い繁殖牛をつくるためには、特に育成期に十分な運動と良質粗飼料給与による体づくりが大切とのことから放牧を進めてきています。

また、例年六月に行われている畜産共進会でも、足腰の弱さや発育の不十分さが指摘されており、“運動”“良質粗飼料”という両要件が満される放牧場に寄せる利用者の期待は大きいものがあります。

「私有林の部」で小松氏入賞

55年度県造林コンクール

本町八日町の小松昌樹氏は、県緑化推進委員会の主催する昭和五十五年度民有林コンクール「私有林の部」で

入賞、五月十五日に二ツ井中学校で行われた県植樹祭記念式典の席上で、中田会長から賞状と記念の楯が贈られました。

賞状と記念の楯を手に喜びの小松さん

高橋富男、小松清男、佐藤周一、小松愛子、佐藤照子、小野健、松やえ子、佐藤照子、小野健、高橋孝紀、小松信記、櫛野忠義、（以上十八名）

七十九名の方がご芳志

（本荘高校下郷分校前）木

島一広、佐藤守、工藤弘喜、

小松玲子、佐々木昌子、長谷

山千賀、大日向晃子、阿部重

樹、八島等、渡辺清美、小野

郁子、遠藤陽子、小野伊津子、

梅津タケ、佐々木ヨネ、畠山

美喜子、佐藤洋子、佐々木重

郎、遠藤トキヨ、阿部千恵子、

佐々木邦夫、阿部一郎、小松

徳重（以上十五名）

（大蔵館前）渡辺秀雄、工

藤保春、工藤倫子、佐藤亮司、

高橋美和子、三浦良男（以上

六名）

（農協玉米支所前）浅田誠、

工藤太一、梅津政男、八島修、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木由美子、小笠原千

寿子、小松由美子、阿部環、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木孝子、阿部環、

阿部寿夫、長谷川春男、小野

清治（以上二十八名）

なつて我が家に戻ることになつています。

なお、若林放牧場の方は、地として利用することにしてあります。

放牧希望頭数が二十頭前後し放牧牛は、この日から約半

年間、看視人の小松亜之助さん（石高）の世話を受け、四

方が出場者にあいさつをしながら会場内を回られ、小松町長夫妻は軽食をとりながら、約二時間にわたって参會者と歓談しました。

善意の献血ありがとう

七十九名の方がご芳志

（役場前）小松レイ子、小

松睦男、高橋フミ子、畠山通

惠、畠山栄雄、守屋正、大場

義信、鍬崎和博、小松多喜子、

阿部弘章、小野義雄、小松英

治、高橋孝紀、小松信記、櫛

野忠義、（以上十八名）

（本荘高校下郷分校前）木

島一広、佐藤守、工藤弘喜、

小松玲子、佐々木昌子、長谷

山千賀、大日向晃子、阿部重

樹、八島等、渡辺清美、小野

郁子、遠藤陽子、小野伊津子、

梅津タケ、佐々木ヨネ、畠山

美喜子、佐藤洋子、佐々木重

郎、遠藤トキヨ、阿部千恵子、

佐々木邦夫、阿部一郎、小松

徳重（以上十五名）

（大蔵館前）渡辺秀雄、工

藤保春、工藤倫子、佐藤亮司、

高橋美和子、三浦良男（以上

六名）

（農協玉米支所前）浅田誠、

工藤太一、梅津政男、八島修、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木由美子、小笠原千

寿子、小松由美子、阿部環、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木孝子、阿部環、

阿部寿夫、長谷川春男、小野

清治（以上二十八名）

（本荘高校下郷分校前）木

島一広、佐藤守、工藤弘喜、

小松玲子、佐々木昌子、長谷

山千賀、大日向晃子、阿部重

樹、八島等、渡辺清美、小野

郁子、遠藤陽子、小野伊津子、

梅津タケ、佐々木ヨネ、畠山

美喜子、佐藤洋子、佐々木重

郎、遠藤トキヨ、阿部千恵子、

佐々木邦夫、阿部一郎、小松

徳重（以上十五名）

（大蔵館前）渡辺秀雄、工

藤保春、工藤倫子、佐藤亮司、

高橋美和子、三浦良男（以上

六名）

（農協玉米支所前）浅田誠、

工藤太一、梅津政男、八島修、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木由美子、小笠原千

寿子、小松由美子、阿部環、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木孝子、阿部環、

阿部寿夫、長谷川春男、小野

清治（以上二十八名）

（本荘高校下郷分校前）木

島一広、佐藤守、工藤弘喜、

小松玲子、佐々木昌子、長谷

山千賀、大日向晃子、阿部重

樹、八島等、渡辺清美、小野

郁子、遠藤陽子、小野伊津子、

梅津タケ、佐々木ヨネ、畠山

美喜子、佐藤洋子、佐々木重

郎、遠藤トキヨ、阿部千恵子、

佐々木邦夫、阿部一郎、小松

徳重（以上十五名）

（大蔵館前）渡辺秀雄、工

藤保春、工藤倫子、佐藤亮司、

高橋美和子、三浦良男（以上

六名）

（農協玉米支所前）浅田誠、

工藤太一、梅津政男、八島修、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木由美子、小笠原千

寿子、小松由美子、阿部環、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木孝子、阿部環、

阿部寿夫、長谷川春男、小野

清治（以上二十八名）

（本荘高校下郷分校前）木

島一広、佐藤守、工藤弘喜、

小松玲子、佐々木昌子、長谷

山千賀、大日向晃子、阿部重

樹、八島等、渡辺清美、小野

郁子、遠藤陽子、小野伊津子、

梅津タケ、佐々木ヨネ、畠山

美喜子、佐藤洋子、佐々木重

郎、遠藤トキヨ、阿部千恵子、

佐々木邦夫、阿部一郎、小松

徳重（以上十五名）

（大蔵館前）渡辺秀雄、工

藤保春、工藤倫子、佐藤亮司、

高橋美和子、三浦良男（以上

六名）

（農協玉米支所前）浅田誠、

工藤太一、梅津政男、八島修、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木由美子、小笠原千

寿子、小松由美子、阿部環、

小松幹子、佐藤和江、渡辺秋

江子、佐々木孝子、阿部環、

阿部寿夫、長谷川春男、小野

清治（以上二十八名）

（本荘高校下郷分校前）木

島一広、佐藤守、工藤弘喜、

小松玲子、佐々木昌子、長谷



故杉江謙一氏

獣医師の杉江謙一氏（新町）は、病気療養中のところ五月二十五日午後一時三十分永眠されました。氏は、鹿角市花輪町の出身で、東京高等獸医学校卒業し昭和十八年に獸医師免許を取得。昭和二十四年から本年三月県農業共済組合連合会を退職されるまでの間、福島・秋田両県農業共済組合連合会、東由利村農業共済組合に奉職され、家畜診療と家畜衛生管理の普及高揚に尽力されました。特に、昭和三十八年からは昼夜を問わず献身的に診療に乞われて本町に住所を構え、心からご冥福をお祈り申し上げます。享年五十九歳。

獣医師・杉江謙一氏亡くなる

あなたがランプの灯をもう少し高くかかげてください見えない人びとの行く手を照らすために

あなたが一生を終えたアメリカのヘレン・ケラー女史はこう書き残しています。

その灯が、どんなにささやかでも、小さくてもいいのです。一人ひとりが「ランプの灯」に育っていくことがボランティアへの第一歩だといえましょう。

ボランティア(Volunteer)とすぐれた社会事業家としての生後間もなく熱病におかされ目も耳も口も不自由という三重苦を背負いながらなお、

あたられるとともに飼養技術、衛生管理の向上など、県内有数の畜産の町といわれる本町畜産の振興発展に大きく貢献されました。

杉江先生が来てくれればもう安心」と畜産農家の絶対の信頼を得、今後の活躍が期待されていた同氏の急逝は、農家はもちろん、関係各方面から悼まれています。

心からご冥福をお祈り申します。

まずは、収集ボランティア活動があります。古切手や一円

昭和56年「国際障害者年」に当たって

地域社会の“心”をつなぐボランティア活動

今年は「国際障害者年」。

いま、国内はもとより世界中で「障害を持つ人の社会への完全参加と平等」の実現をめざして、いろいろな運動や催しが行われています。障害を持つ人の問題は、単に障害を持つ人だけでなく、わたしたち一人ひとりが自分自身の問題として受けとめ、幅広い社会的な連帯意識をもつて解決していくことが大切です。

障害を持つ人に対する理解と关心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせる社会づくりを進めるために、わたしたちは社会の一員として、なにかしら必ずできるはずです。

「相手の身になって、自分のして欲しいと思うことを、その通り人にする」——ボランティア活動についてみんなで考えてみましょう。

自ら進んで、だれかのために無報酬でなにかをする

あなたのランプの灯を

もう少し高くかかげてください見えない人びとの行く手を照らすために

一生を終えたアメリカのヘレン・ケラー女史はこう書き残しています。

その灯が、どんなにささやかでも、小さくてもいいのです。

一人ひとりが「ランプの

灯」に育っていくことがボランティアへの第一歩だといえましょう。

ボランティア(Volunteer)と

いう言葉には「自ら進んでだれかの任務につくことを申し出る人。有志」という意味があります。

つまり、自ら進んでだれかのために、報酬を期待しないで何かをする——これがボランティア活動です。

それは、恵む——恵まれる、

つまり、自ら進んでだれかの任務につくことを申し出る人。有志」という意味があります。

それは、恵む——恵まれる、

手から手へ」という積極的な姿勢が、ボランティア活動へと結びついていったのです。

社会の一員として(連帯性)、

手から手へ」という積極的な姿勢が、ボランティア活動へと結びついていったのです。

一方で、住みよい、潤いのある地域社会づくりが新しい課題として登場した時期でもありました。

福祉の受け手から手へ」という積極的な姿勢が、ボランティア活動へと結びついていったのです。

社会の一員として(連帯性)、

手から手へ」という積極的な姿勢が、ボランティア活動へと結びついていったのです。

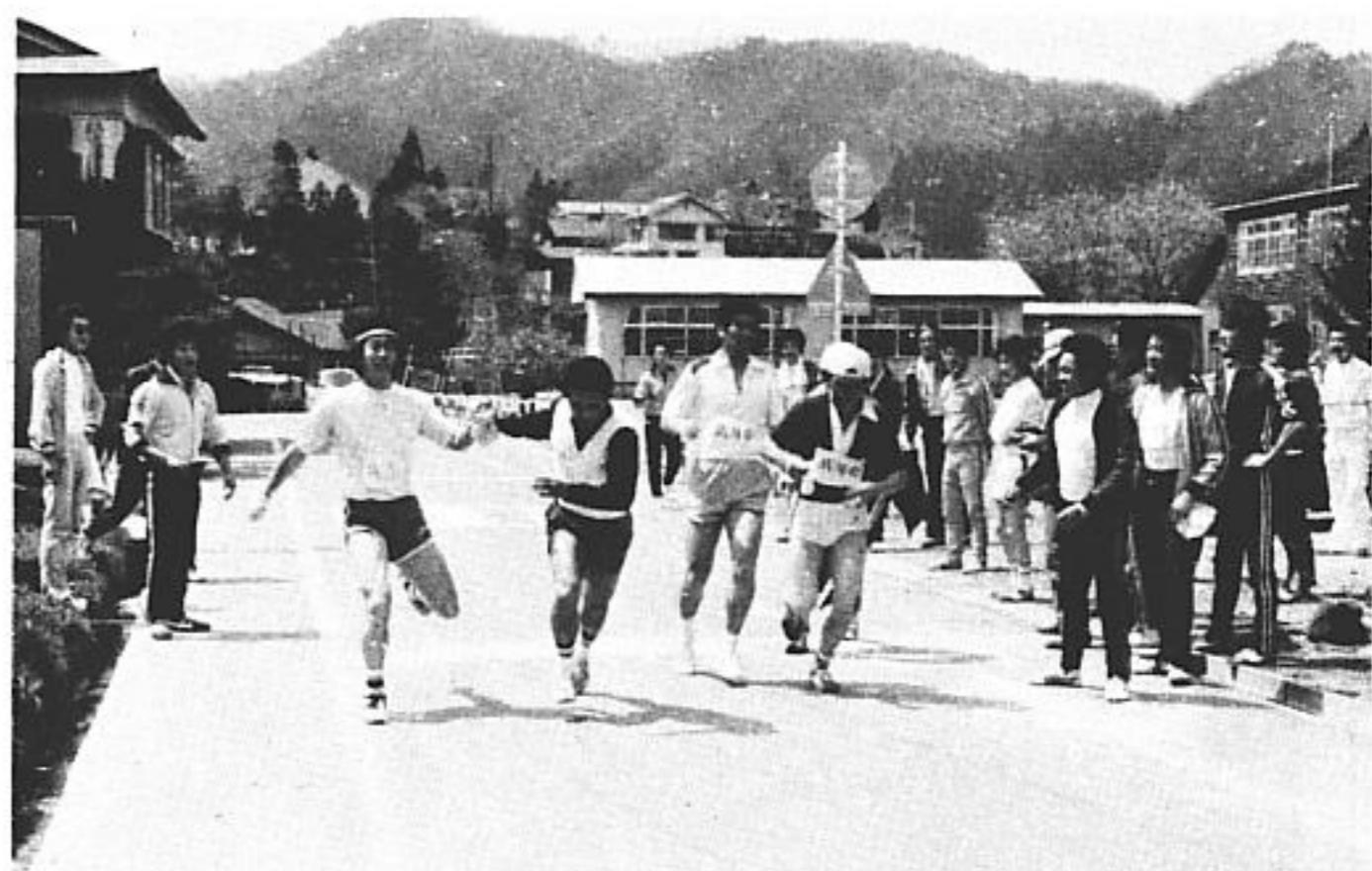
社会の一員として(連帯性)、

手から手へ」という積極的な姿勢が、ボランティア活動へと結びついていたのです。

社会の一員として(連帯性)、

住吉青年会が連覇

第21回青年駅伝大会



首位争いも激しく、ほぼ同時に最終走者にリレー（藏小前で）

在町青年のスポーツシリーズ開幕を告げる青年駅伝大会は、今年も五月五日に行われ、六地区単位青年会から七チーム（住吉は二チーム）、一般八チーム四十八人の選手が、公民館前から住吉・大琴間、六区間二九・八キロメートルに健却を競いました。

この大会は、町連合青年会が主催する恒例の行事で、今年で二十一回を数える伝統あるものです。

花曇りの絶好のコンディションの中で行われたレースは、住吉青年会Aチームと、三十歳から四十歳までの往年の名選手をそろえた成年会チームが最初から飛び出し、終始

他チームをリード、激しいトッピ争いを演じました。両チーム最終走者は、ゴトルメとして快調にとばし、優勝

杯の行方は最後の最後までわからぬという好レース。結果、中継後にダッシュを見せた住青Aがそのまま逃げきり、チームとしては初めて、住青としては昨年のBチームに続いて二年連続の優勝を飾りました。

局、中継後にダッシュを見せた住青Aがそのまま逃げきり、チームとしては初めて、住青としては昨年のBチームに続いて二年連続の優勝を飾りました。

東北電力から今春

も水銀防犯灯一基

防犯と交通事故防止に役立つ

佐藤清一（成年会）17分2秒
六区（藏小前→公民館前4.2km）
嶽石一人（住青A）15分35秒

町では早速、黒沢に取り付け、地域の安全に役立てるこ

とにしました。
今春も水銀防犯灯一基が寄贈されました。

町長日記

て本町と大内町は事業に参

加することになりました。

これから町では、事業参

加希望者に働きかけて参

ります。開発構想は、水稻に

偏った生産構造を改善する

ものであって、東部地区で

は五十七年には全体設計を

行い、五十八年度の着工を

めざしています。

利中学校発足以来、環境整備に教師、生徒、父兄の皆さんが心掛けていた努力が実を結んだのであります。

歴史に刻みこまれる大きな成果であります。感激深く

同慶の至りでございます。

町内外からの評価に誇りを

持つて教育向上の為に更に

努力をするべきと思います。

私ごとで恐縮ですが、去る五月八日に、天皇陛下がお催される春の園遊会にお招きの光榮に浴しました。

快晴の赤坂御苑は、ふじと

しようぶが盛りでありまし

た。陛下はじめ各皇族様が

遊歩路づたいに参会者に御

会祝とお言葉を賜りました。

少し前かがみの御姿勢なが

ら、足取りとお声には八十

歳の御高齢とは思われない

確さがありました。各界参

会者の末席をけがし、日頃

町内外の皆様の御厚情の賜

と謹んで御報告と御礼を申

し上げる次第です。

東由利の地名 =12=

わが町はほぼ東西に国道がとおり、高瀬川が貫流している山あいの地域である。この高瀬川に多くの支流が注いでおり、その支流にはまた数えきれないほど大小さまざまな沢がある。

沢の語源は、水草がいりまじって生える土地で、豊富・うるおう・めぐみの意味を持つ漢字である。

沢のつく部落（奥ヶ沢・土場沢・黒沢・中の沢・茂沢・祝沢・滝の沢・松沢）

沢シリーズ①

や、小字名として沢のつくのは五十余あるし、通称として沢のつくのは数えきれないが、多くの沢があるのは、地勢上の特色からして、当然のことなのである。

こうした沢は、沢があるかたつたのである。

しかし、沢は地すべり・大水など被害の元凶で、必ずしも住む人々からよく思われない時も数多くあつた

あつたのでないか。

だから、祖先の人々は、沢の入口やその近くの水口に、山の神・水の神をはじめとして、自然のもろもろの神を崇めるべく、また怒りをしずめるため、御幣をあげて祈願したのでなかろうか。（続く）

（畠山昭二）

6月 のこよみ

曜日	行事
1月	消防団員辞令交付（役場）
2火	
3水	ツペルクリン反応検査(14:00~有鄰館)
4木	愛育班研修会(9:30~有鄰館) 出羽丘陵開発部落座談会(4日~8日)
5金	民生委員協議会 BCG予防接種(14:00~有鄰館)
6土	
⑦日	町民登山の会(八塩山)
8月	
9火	牛アカバネ病予防注射(9日~11日)
10水	3歳児検診(13:00~有鄰館)
11木	
12金	
13土	
⑯日	
15月	結核・循環器第1次検診(15日~18日)
16火	水田利用再編転作現地確認(16日~18日)
17水	ことぶき大学(町内外バス視察研修・1班)
18木	
19金	
20土	
㉑日	
22月	結核・循環器第1次検診(22日~27日) ことぶき大学(町内外バス視察研修・2班)
23火	敬老会(10:00~有鄰館)
24水	敬老会(10:00~有鄰館) 畜産共進会(上の代)
25木	議会定例会
26金	議会定例会
27土	農業委員会
㉘日	全町球技大会
29月	人権相談(10:00~役場)
30火	リハビリ学級(13:30~有鄰館)
6月30日 町県民税納期限(1期)	
摘要	

小野 加代	高橋 美香	伊東 麻理子	上里 市郎
横山 秀之	佐藤 順哉	小松 愛子	畠村 与一
泡の瀬	湯出野	士の前	高村 茂雄
工藤 恵理佳	高村	君悦	長女
横山 秀一	和彦	二男	長女
二男	真市	二女	長女

つぶ語

慶弔だより

4月2日～5月20日

△同小ヘ雑巾100枚 小野マサ
エさん(上里)から

全国いっせいに実施
三年に一回実施される「事業所統計調査」が七月一日、
全國いっせいに行われます。
この調査は、すべての事業
所を対象とするわが國の最も
基本的な統計調査の一つで、
産業構造や従業者の分布など
事業所を単位とする活動の実
情を明らかにするとともに、
国・県・市町村の政策の資料

事業所統計調査にご協力を

七
月
一
日

かわらばん

人口総数	6,339人
うち男	3,114人
うち女	3,225人
世帯数	1,448戸
面積	148.51km ²

(56.4.30現在)

となるものです。

申告されたことがらは、徵
税などの資料には絶対使用さ
れませんし、調査員も他に漏
らすことはありません。今月
下旬から来月上旬にかけて調
査員が各事業所を訪問し、調
査票の記入を依頼しますので、
正確な統計が得られますよう
ご協力をお願ひします。

五月一日から印紙税
が変わっています

五月一日から印紙税
が変わっています

詳しくは、最寄りの税務署
又は税務相談室にお尋ねください。
(本荘税務署)

最寄りの税務署
室にお尋ねくだ
(本荘税務署)

最低税率は、一通又は一冊につき二百円になり、それぞれの税率がこれまでの二倍に引き上げられました。また、土地売買契約書、約束手形、売上代金の受取書などのうち

無線機の不法使用はやめて

法令違反防止旬間」と定め、全国的に広報活動を強化することにしました。また、年間を通じてハイパワー市民ラジオ絶滅のため日夜努力しており、悪質なものは告発を行っています。

もし、皆さんのお知り合いの人で、ハイパワー市民ラジオを使用している節を感じられたら、体刑や罰金などの処分を受けることがありますから、直ちにやめるよう注意し

（東北電波監理局）
社福だより

社福だより

(東北電波監理局)

佐藤裕美 時雨山 宏長

ヘリから東由利を
眺めてみませんか！

秋田陸上自衛隊では、次により本町内でヘリコプター体験塔乗飛行を行うことにし、塔乗者を募集しています。この機会に是非あなたも空から東由利を眺めてみてはいかがでしょうか！

- ・飛行日 7月9日
 - ・滞空時間 1回20分程度
 - ・定員 20人（申し込み者多数のときは抽選により決定）
 - ・申込先 役場住民課住民厚生係（電話申込可）
 - ・申込期限 6月20日
 - ・その他 性別は問いません

・お悔み申し上げます
佐々木 智 大琴 45歳
遠藤 キノ 小倉 88歳

五月一日発行三一四号の上
ページ「森林組合長に……」の
記事で、〈理事〉当選者の大
に「小畠鉢平氏（家の下）」が
掲載もれとなっていました。
補足してお詫びします。

住吉分館

分館長 小松幸男
主事 小松佳和
" 横山隆一

【6月】分館と若者たちとの話し合い。【8月】地区球技大会、盆踊り大会、花火大会。【12月】料理講習。【1月】町づくり座談会。【2月】映画会。【3月】趣味教室。

玉米分館

分館長 遠藤 繁
主事 高橋忠一
" 遠藤常雄

【5月】分館と青年会との交流会。【6月】部落対抗ソフトボール大会。【8月】盆踊り大会、キャンプファイヤー、花火大会、ゲートボール大会。【9月】移動分館。【10月】父親学級。【1月】スキー教室。【2月】婦入学級、講演会。【3月】料理講習。

老方分館

分館長 藤原陽太郎
主事 佐藤寅雄
" 佐藤俊一

【6月】町づくり座談会。【7月】移動映画、文化講座。【8月】移動公民館、盆踊り大会。【9月】歩こう会、親子ソフトボール大会。【11月】青少年座談会。

蔵分館

分館長 石渡力造
主事 畑山昇三
" 伊東一夫

【5月】町内と周辺町村視察。【6月】さなぶり大会。【8月】盆踊り大会。【9月】家庭教育学級、ことぶき教室【11月】文化講演会。【12月】地域婦人のつどい。【1月】移動町民室。【2月】第4回創作とくらしの工夫展。【3月】生産カレッヂ。年4回館報発行

法内分館

分館長 阿部重助
主事 佐藤清一
" 遠藤 基

【6月】さなぶり運動会、グラウンド整備、土手刈。【7月】移動学級、映写会。【8月】ふるさと学習会、盆踊り大会、地域づくり座談会。【9月】第3回秋まつり。【11月】講演会。【1月】映写会、ふるさと学習会。【2月】各種学習会開設。

宿分館

分館長 遠藤聚一
主事 佐々木伯漠
" 大庭時晴

【5月】移動公民館。【7月】映写会。【8月】盆踊り大会。【9月】地区演芸会。【11月】映写会。【1月】移動公民館。【2月】講演会。

袖山分館

分館長 武田秀夫
主事 畠山顕悟
" 小野 効

【5月】地区運動会。【6月】地区球技大会。【8月】盆踊り大会。【1月】移動町民室、分館研究会。【2月】講演会。

地域の特性顕著に**=生涯教育の現場=****56年度分館事業一覧**

人はそれぞれ、その置かれている環境や条件の違いによって物の見方や考え方には大きな相違があり、また個性も千差万別であります。

しかししながら共通することは、この世で人間としていかに人間らしく生きるか、いかに平和で満ち足りた生活を希求している点では同じであろうと考えられます。

人間が誕生から地に遷る日までの一日一日を、いかに前述の希求に近づけ得るか、そのための不断の学びを指すの

計画されているこれら事業をそれぞれの生涯学習の場として役立たせるため、大いに参加、盛り上げてくださることを期待します。

地域住民それぞれのために地域住民のためには、よく周知されていないという声がありましたので、今号では町内七分館の主な事業と時期を紹介してみました。

省エネは生かす私の知恵と腕

【7日】町民登山の会(八塩山) 【13日】古文書解説講座(大蔵館) 【16日】連合婦人会管外研修(鳴子町) 【17日】全町球技大会

【22日】ことぶき大学(バス研修)

【28日】全町球技大会

6月の公民館行事

期日 6月7日(日)
9時まで八塩ダムに集合
持ち物 昼食
下山後希望者で反省会を行なう予定です。

▼審判講習会▲
期日 6月16日(火)
時間 午後7時
会場 公民館

▼監督会議及び抽選▲
期日 6月16日(火)
時間 午後1時30分
会場 公民館

▼秋田県教育史第一巻資料編
一▼日本古寺美術全集第二十
五卷三十三間堂と洛中・東山
の古寺▼写真集シルクロード
絲綢之路長安・河西回廊・敦
煌(NHK取材班)

町民登山の会

期日 6月28日(日)
会場 台山グラウンド
雨天の場合7月5日

内容については昨年と同じであります。

ながら登ることの少ない八塩山へ登つてみませんか。

なお、審判講習会、監督会議は次の日程で行ないます。

初夏の一日、目前にあります。

ながら登ることの少ない八塩山へ登つてみませんか。

なお、審判講習会、監督会議は次の日程で行ないます。

じであります。

ながら登ることの少ない八塩山へ登つてみませんか。

なお、審判講習会、監督会議は次の日程で行ないます。